

1 情報化に対応できる資質・能力を育成する情報教育の体系的な推進

- 学校教育全体において情報教育を推進するために、教育の情報化を推進する組織を位置付け、計画的に研修を行うなど**校内の指導体制を充実**させる。
- ◎ 情報活用能力を身に付けさせるために、各教科等との関連を図りながら、**発達の段階と系統性を踏まえた指導内容や方法**を明らかにするとともに、次の**3観点・8要素**をバランスよく育成する。

【情報教育の3観点・8要素】

① 情報活用の実践力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用 ・ 必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造 ・ 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達
② 情報の科学的な理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解 ・ 情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解
③ 情報社会に参画する態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解 ・ 情報モラルの必要性や情報に対する責任の思考 ・ 望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

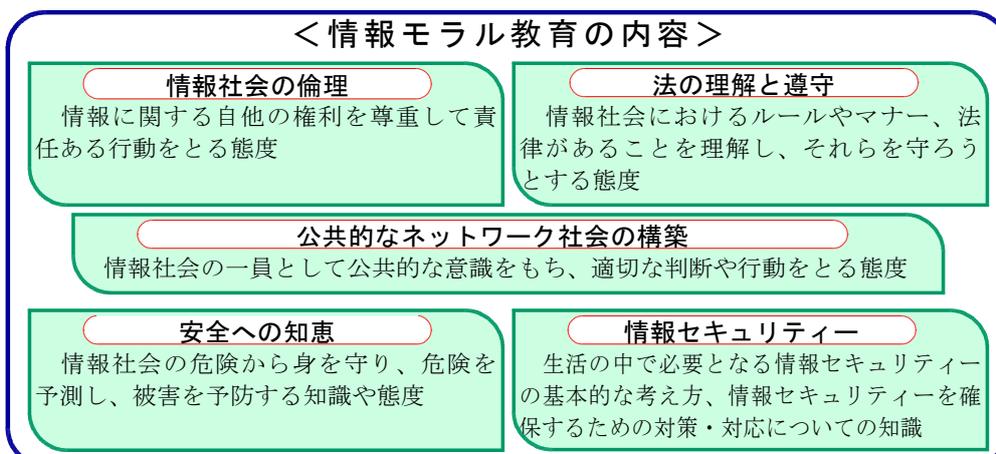
※ 教育の情報化に関する手引き（平成22年10月 文部科学省）

2 情報活用能力を高める指導の工夫

- 必要な情報を主体的に選択・活用する能力を育成するために、各教科等の学習において、**目的に応じた情報手段を効果的に活用**する。
- ◎ 各教科等においては、子どもの学習意欲を高め、理解を助ける**コンピュータ等の情報手段の活用場面や活用方法を工夫**する。
- **実際の体験や課題解決などを通して**、次の能力を身に付けさせる。
 - ・ 情報を収集したり選択したりする力
 - ・ 情報を比較・吟味して整理する力
 - ・ 複数の情報を関連付けたり組み合わせたりして新たな情報を創造する力

3 情報モラル教育の充実

- ◎ **情報モラル教育**を道徳や各教科等など教育課程に位置付け、子どもの発達段階に応じて**5つの内容**をもれなく扱い、**情報社会での行動に責任をもたせ、適正な活動を行うための基になる考え方と態度**を身に付けさせる。



※ 情報モラル教育実践ガイダンス
 （平成23年3月 国立教育政策研究所）

- **SNSの適切な利用方法については、子どもの実態を踏まえ、最新の情報を広く収集しながら、具体的に指導**する。

※ 「福島県SNSいじめ等研修会報告書」 福島県教育庁義務教育課HP

※ 「インターネットトラブル事例集」 総務省総合通信基盤局消費者行政第一課青少年担当HP